

新型コロナウイルス感染拡大に伴う診療対応について

ぶるーむの風診療所 院長 清水 純

皆様方におかれましては、日ごろから、体調、健康管理に留意されていることと存じます。暖冬と国民の予防意識の高まり、休校・自粛措置などから、インフルエンザの流行も概ね終息し、一部を除けば、かぜの受診患者数も全国的に減少しているようです。その一方で、ご存じ、新型コロナウイルス感染症は国内でもその流行が拡大傾向にあります。

4月2日現在、千葉県は感染確認地域で、東京や大阪のような大都市の感染拡大警戒地域という扱いにはなっていませんが、流行の勢いが収まらなければ東京に隣接する我が県も感染拡大警戒地域になる可能性は高いと考えます。考えられることとして、発熱、咳などの感冒症状＝高確率で新型コロナウイルス感染症という状況へ移り、一般の医療機関に同様の症状の受診が増えれば、紛れ込みにより、医療機関を介した患者-患者間、患者-スタッフ間の濃厚接触の恐れが増すこととなります。

当診療所は、一般小児科・内科を標榜する地域の無床診療所ですが、同時に、障害のある方々を支援する社会福祉法人ぶるーむ内に併設されているという特殊性があります。そのため、基礎疾患のある方と新型コロナウイルス感染者が法人内で接触しないように、流行期に向けた診療の対応について検討いたしましたので、受診される際には以下のことについてご理解とご協力をお願いしたいと思います。

- 1) 37.5°C以上の発熱、咳の症状で診察ご希望の場合は、受診前に一度電話にてご連絡ください。症状が軽微なものについては、受診されず在宅療養で経過観察でも可能な場合が多く、受診される場合も、簡易な問診中心で、見立てと処方対応が可能です。
- 2) 事前連絡なく受診された場合、スタッフが必要に応じ防護衣着用下で、診療所の外で問診をし、場合によっては中に入らないままでの診療対応となる場合がございます。濃厚接触による診療停止で医療資源が減少しないためにご理解とご協力をお願いします。
- 3) 『コロナウイルスかどうか心配で受診』される方、4日以上症状が長引いている場合など (※)は、新型コロナウイルス感染症の検査の必要性を考慮しますので、必ず受診前に、柏市新型コロナウイルス感染症相談センター (TEL 04-7167-6777) に相談の上、受診についての指示をいただき、受診の勧めがあった場合に受診可否確認のため、当院に電話連絡をされるようお願いいたします。対応する場合も、外のインターホンで来院をお知らせいただいた後、スタッフ側から案内します。なお、2)と同様の対応になり得ますことをご了解ください。

(※海外渡航歴、濃厚接触歴、37.5℃以上や咳が4日以上《解熱剤使用期間を含む、基礎疾患のある方は2日以上》、呼吸苦、倦怠感、嗅覚・味覚障害のある方など)

4) インフルエンザ感染者との濃厚接触による発熱の場合も一度電話でご相談ください。迅速検査を省いて処方することも可能です。

私たちは地域の診療機関である以上、流行期の感染症患者との接触は不可避です。今回の新型コロナウイルスが強い感染力を持つウイルスであることを考えると、近い将来、紛れ込み例の診察から感染してしまうかもしれません。もし当診療所で感染者、濃厚接触が発生してしまった場合は、保健所の指示に従い、医院の一時閉鎖、場合によっては法人全体が一時閉鎖となります。他の医療機関では、感染者に対する世論の風当たりが強いため、風評被害などを恐れて軽微な感染症も診ないところが増えていると聞きます。医療資源は有限であるということを知っていただきたく、また、仕事とはいえ、リスクを背負って診療している医療従事者へ、どうか温かい目を向けていただきたいと思います。

今は、一人ひとりが感染をもらわない、うつさないためにできること、国民一人ひとりがお互いのことを考えながら行動していけたらと願っています。